

2026年3月17日

お客様各位

株式会社フジクラ・ダイヤケーブル
直需カンパニー 情報通信営業部

5G用 Sub6 帯域対応漏洩同軸ケーブル国内初納入

昨今、携帯電話トラフィックの増加に伴い、通勤ラッシュ時の地下鉄において通信が利用しづらい区間が多く見受けられています。こうした状況を受け、地下鉄やトンネルなどの電波不感地帯を解消する目的で、通信環境の整備・維持管理に携わっている、公益社団法人移動通信基盤整備協会(JMCIA)では、現行の4Gシステムに加えて5Gシステムを追加導入する対策を計画しています。

5Gシステムは4Gシステムと比較すると、より高い周波数帯を利用し、技術的に高い性能が求められますが、このたび、フジクラ・ダイヤケーブルは、5G帯域対応漏洩同軸ケーブルおよび専用コネクタを製品化し、日本国内で他社に先駆けて横浜市営地下鉄ブルーラインへ初納入いたしました。

本製品は、トンネル内などの閉空間でも5G用 Sub6 周波数帯で優れた電波伝搬特性を有するアンテナとして使用でき、2026年春に計画されている実証実験を経て、実用化へと進む予定です。



以上